

『観音巡礼のキセキ』

川原大乗師著

現在鹿児島で教化活動に励んでいる著者は、高野山大学四年生だった平成十八年、中村本然同学教授の指導のもと観音信仰を現代に伝える西国十三ヶ所霊場を論題として卒業論文を執筆する為、夏季休暇を利用して実際に西国十三ヶ所霊場を巡拝し、その巡礼日記を一冊の本として発行した。夏の酷暑の中、今まで誰も歩いた事がないと思われ高野山から徒歩での出発資料収集にかなりの時間をかけて調べ上げた約千キロに及ぶ古い遍路道を二ヶ月余りかけて踏破した。観音信仰者であ

った祖母の影響を受けて育った著者が、観音巡礼の中で経験した素晴らしい出会いやキセキが本の随所に書かれており、また巡礼を通じて逞しく成長していく著者の清々しい



「観音巡礼のキセキ」

姿が印象的で、たいへん読み易い一冊である。B六判、一〇一頁。定価八百円十税。発行所は名古屋市昭和区長戸町四―四〇のブイツーソリューション（電話〇五二―七九九―七三九一）